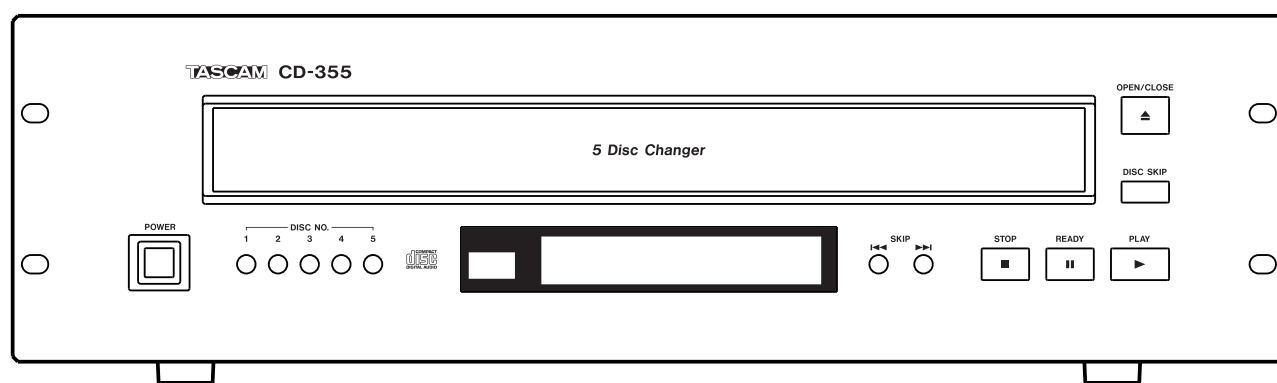
D00989301A

TASCAM
TEAC Professional Division

CD-355

Compact Disc Changer

取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

万一、器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2 cm以上、背面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠注意

オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ディスクトレイが閉まるときに手指をはさまれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
・湿気やほこりの多い場所
・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

第1章　はじめに

このたびはCD-355をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解の上で、充分に機能を発揮させて末永くご愛用ください。

この取扱説明書は、いつでもお読みになれるよう大切に保管しておいてください。

目次

ご使用になる前に

- 本機は、使用中に熱くなることがあります。本機の周囲には充分なスペースを確保して、換気に気をつけてください。
- 本製品の動作保証温度は摂氏5度 ～ 35度です。
- 本製品は水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 電源の電圧がリアパネルに記されている電圧に合致しているかどうかを確認してください。
- レザーピックアップレンズを指で触るなどして汚れを付着させることのないように、ディスクトレーは開けたままにしないでください。

再生中の本機を移動させないでください

再生中は、ディスクが高速で回転しています。再生中の本機を持ち上げたり動かしたりすると、ディスクや本機自体を損傷する可能性があります。

本機を移動するときは

設置場所を変更したり引越しなどのために本機を梱包したりする場合は、必ずディスクを取り出してトレーを閉じてください。その後、電源スイッチを押して電源を切ってから電源コードを引き抜いてください。ディスクを入れたまま本機を移動させると内部を損傷するおそれがあります。

結露にご注意

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

メンテナンス

本機の表面が汚れた場合は、やわらかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、シンナー、ベンジン、アルコールなどの化学薬品は、表面の仕上げを傷めますので使用しないでください。

ディスクについて

本機で再生可能なディスク

- COMPACT DISCロゴマークのついた一般的なオーディオCD

- 適切にファイナライズ処理されたCD-RとCD-RWディスク
- MP3ディスク

ご注意

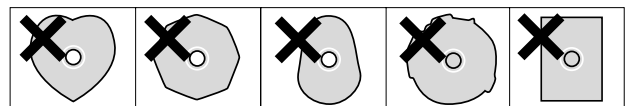
- ディスクの品質あるいは録音の状態によっては、再生できないCD-R/CD-RWディスクがあります。
- コピープロテクトのかかったディスクやＣＤ規格に準拠していないディスクは、本機で正しく再生することができません。本機でこのようなディスクを再生した場合、その結果についてはＴＥＡＣ及びその関連子会社は責任を負いません。また音質の保証もいたしません。ＣＤ規格外ディスク再生時の支障については、ディスクの発売元にお問い合わせください。

- ディスクをトレーに載せるときは、必ずレーベル面を上にしてください。（ＣＤは片面にしか録音されていません。）
- ディスクをプラスティックケースから取り出すときは、ケースの中心を押さえてディスクの一方を持ち上げてからディスクの両端を手で挟んで慎重に取り出してください。

ディスクの取り出し方

ディスクの持ち方

- ディスクのクリーニングは、乾いたやわらかい布を使って中心部から外周部へ放射線状に軽く拭くようにして行ってください。

- ディスクのクリーニングに、レコードスプレー、静電気除去スプレー、ベンジン、シンナーなどは使わないでください。ディスクの表面に致命的な傷を付けてしまいます。
- 使用後のディスクは元のプラスチックケースへ戻してください。そのまま放置すると埃が付着したり傷が付いて「音飛び」の原因となります。
- ディスクを直射日光の当たる場所や高温多湿の場所に長時間放置しないでください。ディスクが反ることがあります。
- 変形したり損傷したディスクを再生しないでください。再生機構に致命的な損傷をもたらすことがあります。
- CD-RとCD-RWディスクは、通常のCDより熱や紫外線の影響を受けやすい性質を持っていますので、直射日光の当たらない場所へ保管してください。また暖房器具や熱機器のそばに保管することも避けてください。
- 印刷可能なCD-RやCD-RWディスクの使用は推奨できません。こうしたディスクのレーベル面には粘着性があるため本機を損傷するおそれがあります。
- ディスクに紙や保護フィルムなどを貼ったり、保護膜スプレーを吹き掛けたりしないでください。
- レーベル面に何かを書き込む場合は、油性のフェルトペンを使ってください。ボールペンやその他の先端の硬いペンを使用すると反対側の記録面を傷つけることがあります。
- スタビライザは絶対に使用しないでください。市販のCDスタビライザを本機で使用すると、内部機構が損傷して不具合の原因になります。
- ハート形や名刺形、八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。

- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについて疑問がある場合は、ディスクに付いている注意書きをお読みなり、必要ならディスクの製造元に直接問い合わせてください。

MP3ファイル

- 本機は、CD-RやCD-RWディスクに記録されたMP3ファイルを再生することができます。
- MP3ファイルの名前は英数字でなくてはいけません。本機は、記号及び全角文字を正しく表示することができません。また、必ず拡張子（.mp3）を付けてください。
- ＭＰ３ファイルとは、MPEG-1 Audio Layer-3フォーマットで記録されたモノラルあるいはステレオの音声ファイルで、本機は、44.1 kHzあるいは48kHzのサンプリング周波数、320kbps以下のビットレートでMP3ファイルの再生を行います。
- ディスクがファイナライズ処理されていないと再生できません。
- CD-ROMはISO 9660互換である必要があります。
- 本機は、512個（フォルダーを含む）以上のファイルが記録されているディスクを正しく再生できない場合があります。
- 記録されているファイルの数が多かったりフォルダーツリーの構造が複雑な場合、MP3ファイルを読み込んで再生をスタートするまでに数分かかることがあります。

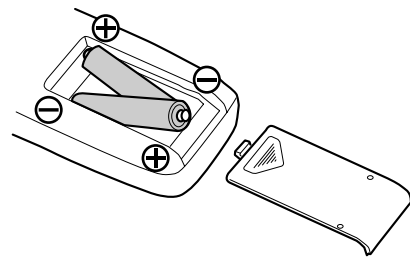
リモコンについて

付属のリモコンを使うと、離れた場所から本機を操作することができます。

リモコンを使うときは、本機のフロントパネルにあるセンサーに向けて操作してください。

- 本機とリモコンとの間に遮蔽物があると、有効範囲内でリモコンを操作しても効きません。
- 近くに赤外線を発するほかの機器があったりほかの赤外線リモコンを近くで操作すると、本機が誤動作することがあります。逆に本機のリモコンを操作すると、近くにあるほかの機器が誤動作することもあります。

電池の入れ方

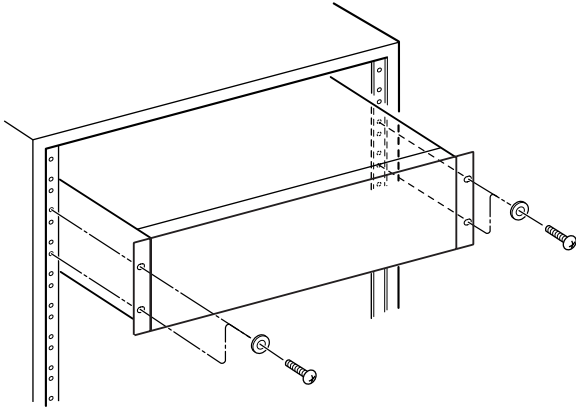
1. 電池ホルダーのカバーを取り外します。
2. ２本の単三乾電池を入れます。⊕、⊖の方向を間違えないでください。
3. 電池ホルダーのカバーを元通りに取り付けます。

電池の交換時期は…

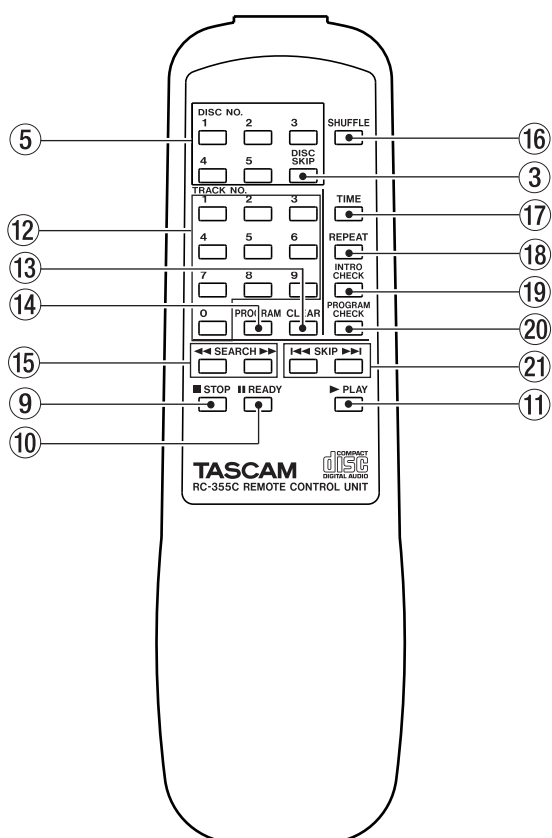
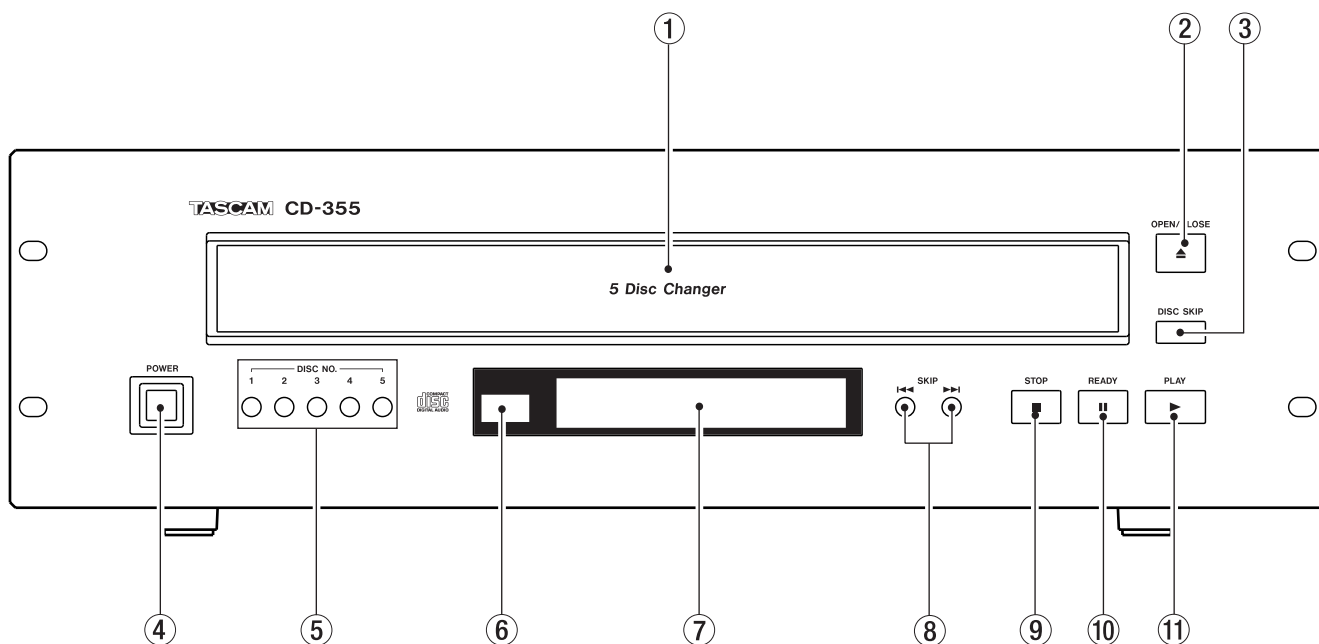
リモコンを本機のセンサーに近づけないと効かなくなったら電池を交換してください。

電池についてのご注意

- 電池をセットするときは、⊕、⊖が正しい方向を向いていることを確認してください。
- 同じタイプの電池を使用してください。異なるタイプの電池を混在させることは絶対に避けてください。
- 使用する電池は充電式でも非充電式でもかまいません。電池のラベルに記されている注意書を参照してください。
- リモコンを長期間（一月以上）使用しないときは、電池ホルダーから電池を取り出しておいてください。入れたままにすると液漏れを起こすおそれがあります。液漏れが生じた場合は、電池ホルダー内の液体を拭い去ってから新しい電池をセットしてください。
- 電池を加熱したり古くなった電池を火の中に投げ捨てることは絶対に避けてください。

ラックマウント

- ラックにマウントする場合は、付属のラックマウント用ビスを使って下図のように、取り付けてください。
  なお、本機の上に1U以上のスペースを、後ろに10cm以上のスペースを開けてください。

アフターサービスについて

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、記載内容をご確認の上、取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より１年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。ただし、業務用製品の場合は、保証期間内であっても使用1,000時間を超えた場合は有償になります。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターなどにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上、ティアック修理センターまでご連絡ください。
  - 型名、型番（TASCAM CD-355）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名

フロントパネル／リモコン

① ディスクトレー

② OPEN/CLOSE

ディスクトレーを開閉します。

③ DISC SKIP

聞きたいディスクを選ぶときに押します。

④ POWER

本機の電源をオン/オフします。

⑤ DISC NO.

聴きたいディスクを選びます。

⑥ リモートセンサー

リモコンを使うときはこの部分に向けて操作します。

⑦ ディスプレイ

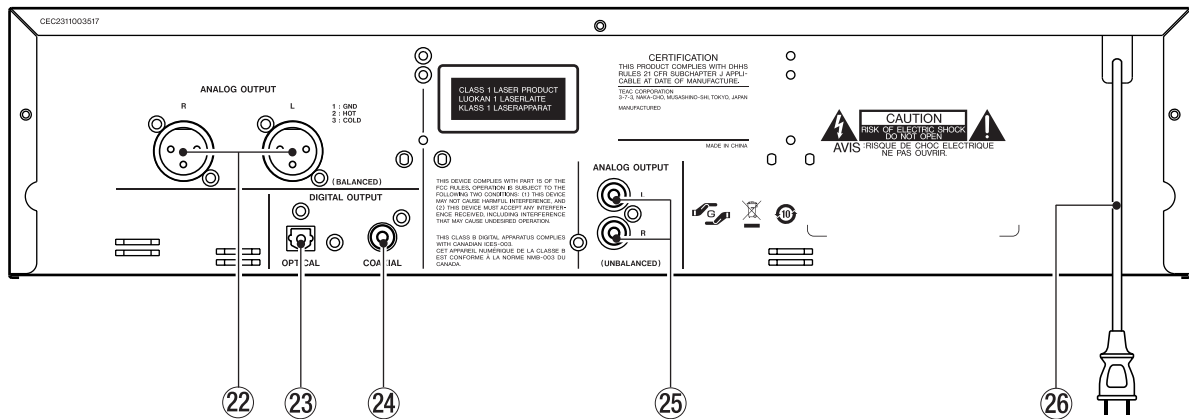
⑧ スキップ/サーチボタン

曲を飛ばしたり聴きたい曲を探し出すときに押します。

⑨ STOP (■)

再生をストップします。

⑩ READY (❚❚)

再生を一時停止して待機状態にします。

⑪ PLAY (►)

再生をスタートさせます。

⑫ TRACK NO.

聴きたい曲を選びます。

例えば「3」「5」の順に押すと、35番の曲が選ばれます。

⑬ CLEAR

プログラムした内容をクリアします。

⑭ PROGRAM

押すとプログラムモードに切り替わります。プログラムモード中に押すと、選んだ曲がプログラムに組み込まれます。

⑮ SEARCH (◄◄ / ►►)

再生中の曲の特定の部分を探し出すときに押します。

⑯ SHUFFLE

ディスク上の曲を順不同に再生します。

⑰ TIME

再生中に押すと、タイム表示が切り替わります。

⑱ REPEAT

押すと、リピート再生モードに切り替わります。

⑲ INTRO CHECK

各曲のイントロ部だけを再生します。

⑳ PROGRAM CHECK

プログラムした内容をチェックするときに押します。

㉑ SKIP (I◄◄ / ►►I)

曲を飛ばすときに押します。

リアパネル

㉒ ANALOG OUT（BALANCED）端子L/R

アナログのBALANCED出力端子（XLRバランス）です。

㉓ DIGITAL OUT（OPTICAL）端子

IEC-60958(コンシューマユース)に準拠したデジタル出力端子です。

このデジタル出力端子を使用しないときは、付属のキャップを嵌めたままにしておいてください。

㉔ DIGITAL OUT（COAXIAL）端子

IEC-60958(コンシューマユース)に準拠したデジタル出力端子です。

㉕ ANALOG OUT（UNBALANCED）端子L/R

アナログのUNBALANCED出力端子（RCAピンジャック）です。

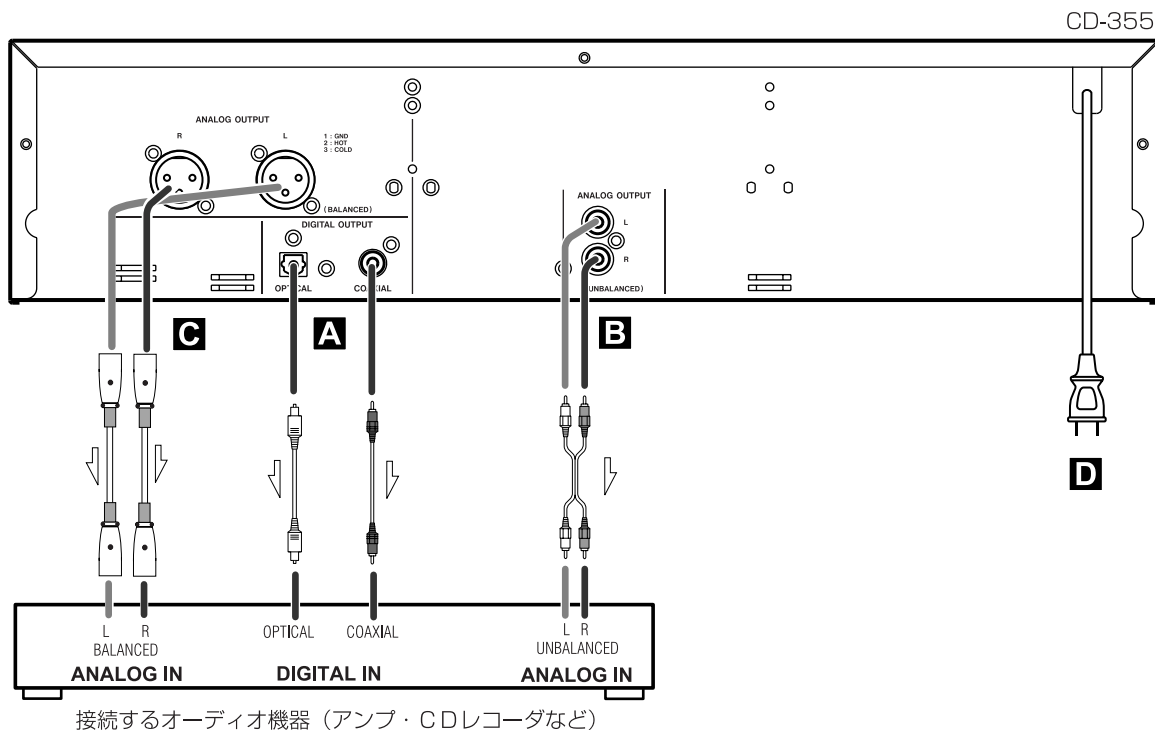
㉖ 電源コード

電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。

必ず正しい電圧のコンセントに接続してください。

⚠ 接続時の注意

- 電源プラグをコンセントに差し込むのは、ほかの全ての接続を終えてからにしてください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、その説明に従って接続してください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。また、アンプとの接続コードを電源コードと一緒に束ねないでください。
  音質の低下や雑音の原因になります。

接続するオーディオ機器（アンプ・ＣＤレコーダなど）

A DIGITAL OUTPUT端子(コアキシャルRCAピンジャック、またはオプティカルコネクター）の接続

同軸デジタルケーブル（コアキシャル）、または光デジタルケーブル（オプティカル）を使って接続する機器のデジタル入力端子と接続してください。

ご注意

接続する場合は、コアキシャル、またはオプティカルのどちらか一方で行なってください。

B ANALOG OUTPUT端子(RCA ピンジャック)の接続

アナログのUNBALANCED出力がこの端子から出力されます。この端子と、接続する機器のアナログ入力端子（UNBALANCED）との間をRCAケーブルを使って接続します。
必ず以下のように接続してください。
白いプラグ ➞ 白いジャック（左チャンネル）
赤いプラグ ➞ 赤いジャック（右チャンネル）

C ANALOG OUTPUT端子（XLRコネクター）の接続

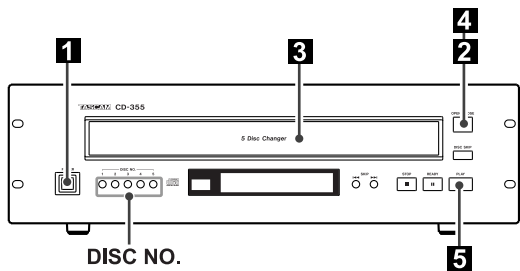
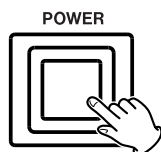
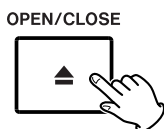
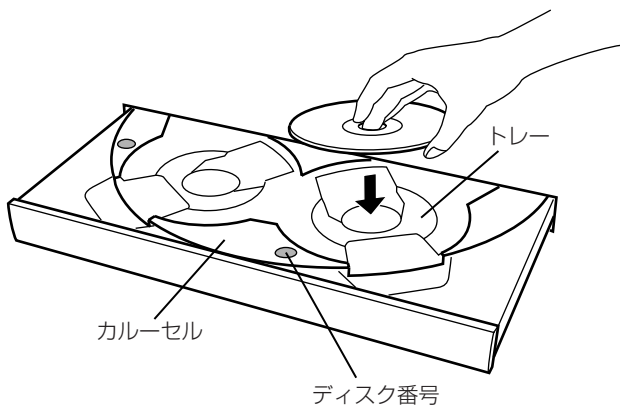
アナログのBALANCED出力がこの端子から出力されます。この端子と、接続する機器のアナログ入力端子（BALANCED）との間をXLRケーブルを使って接続します。

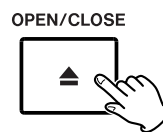
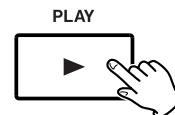
XLRジャックのピン配列

１番ピン：GND
２番ピン：HOT
３番ピン：COLD

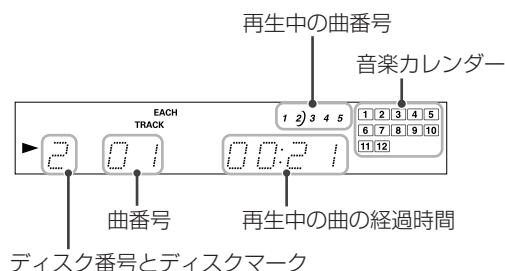
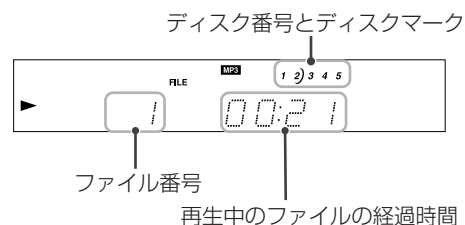
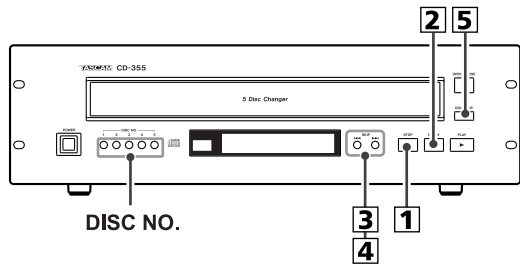
D 電源コード

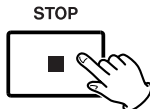
ほかの全ての接続が終わってから電源コードのプラグを交流１００Vの電源コンセントに差し込んでください。

交流１００ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

1 本機のPOWERボタンを押します。

2 OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押します。

3 レーベルが印刷されている面を上にしてディスクをトレーにセットします。

- 複数のディスクを重ねてセットすることは絶対に避けてください。
- DISC SKIPボタンを押すと、カルーセルが回転して奥のトレーが手前に来ます。
- 回転しているカルーセルには手を触れないでください。
- ディスクはトレーの中央に正しくセットしてください。ずれていると、一度閉めたトレーが開かなくなることがあります。
- トレーを無理やり開けたり閉じたりしないでください。

4 OPEN/CLOSEボタン(⏏)を押してトレーを閉じます。

5 PLAYボタン(►)を押して再生をスタートさせます。

セットしたディスクが検知されると再生がスタートします。

- 別のディスクを再生したいときは、DISC SKIPボタンあるいは希望のDISC NO.ボタンを押します。

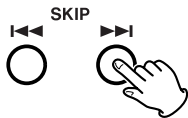
オーディオＣＤをセットした場合の表示

MP3ディスクをセットした場合の表示

- トレーの開閉中でもすべてのボタン類は機能します。
- トレーにセットされたディスクが検知されるとディスクマーク（ ）が点灯します。
  ディスクが検知されないとディスク番号が消灯します。
- 音楽ＣＤの場合は、音楽カレンダーが点灯して、未再生の曲番号が表示されます。ディスクに14曲以上の曲が収録されている場合は、曲番号1-14とOVERが点灯します。

1 **再生をストップするには。**

STOPボタン(■)を押します。

2 **再生を一時的にストップするには（レディーモード）**

再生中にREADYボタン(❚❚)を押します

現在の再生位置で再生が停止して❚❚が表示されます。

再生をリスタートさせるにはPLAYボタン(►)かREADYボタン(❚❚)を押します。

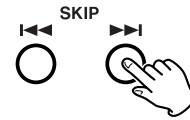
3 **次あるいは前の曲/ファイルへスキップするには。**

再生中にSKIPボタン(⏮ あるいは ⏭)を繰り返し押して、聴きたい曲あるいはファイルを探し出します。選んだ曲あるいはファイルの頭から再生がスタートします。

ストップあるいはレディーモード中の場合は、SKIPボタン(⏮ あるいは ⏭)を繰り返し押して、聴きたい曲を探し出します。PLAYボタン(►)を押すと、選んだ曲の再生がスタートします。

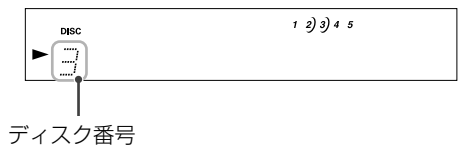
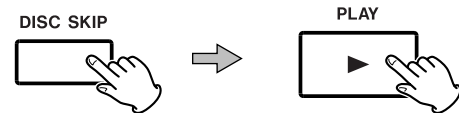
- 再生中に ⏮ ボタンを押すと、再生途中だった曲の頭から再生がリスタートします。⏮ ボタンを2回押すと、前の曲の頭に戻ります。
- ディスク上の最後の曲を再生している途中で ⏭ ボタンを押すと、そのディスクの最初の曲の再生がスタートします。ディスク上の最初の曲を再生している途中で ⏮ ボタンを押すと、そのディスクの最後の曲の再生がスタートします。
- プログラム再生の途中で ⏭ ボタンあるいは ⏮ ボタンを押すと、プログラムされている次あるいは前の曲が再生されます。

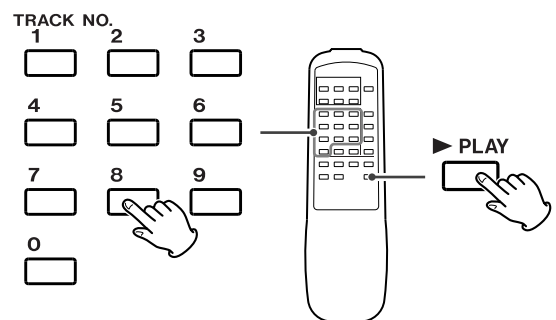
4 **曲/ファイルの中の特定の部分を探し出すには**

再生中に ⏮ ボタンあるいは ⏭ ボタンを押したままにし、聴きたい部分が見つかったらボタンから指を離します。

リモコンの場合は、SEARCHボタン(⏮ あるいは ⏭)を押します。

5 **ディスクを選ぶには**

希望するディスク番号が表示されるまでSKIPボタンを何度か押します。PLAYボタン(►)を押すと選んだディスクの再生がスタートします。

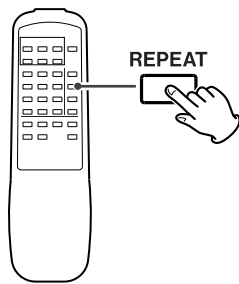
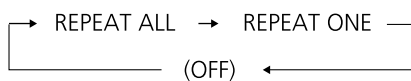
SKIPボタンの代わりに、聴きたいディスク番号に該当するDISC NO.ボタンを押すこともできます。この場合は、選んだディスクの再生が自動的にスタートします。

- 曲/ファイルがプログラムされている場合は、DISC SKIPボタンもDISC NO.ボタンも機能しません。

6 **ダイレクト再生**

CDの再生中に、リモコンのTRACK NO.ボタンを使って曲を選択することができます。

数字ボタンを押して曲を選んでからPLAYボタン(►)を押します。選択した曲から再生がスタートします。

例：35番の曲を選ぶには、3、5の順に押します。

- ダイレクト再生機能はMP3ディスクでは使用できません。ファイルを選択するにはSKIPボタン(⏮ / ⏭)を使います。

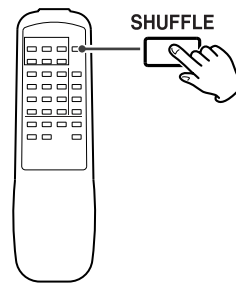
リピート再生

REPEATボタンを押すごとに、モードが以下のように切り替わります。

REPEAT ALL

すべてのディスクのすべての曲/ファイルが繰り返し再生されます。

REPEAT ONE

再生中の曲/ファイルが繰り返し再生されます。REPEAT ONEモードで再生中に別の曲/ファイルを選択すると、新たに選択した曲/ファイルが繰り返し再生されます。

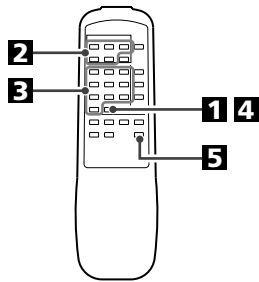
- プログラム再生中にREPEATボタンを押すと、プログラムされてある曲だけが繰り返し再生されます。
- INTRO CHECKボタンとREPEATボタンを同時に押すと、各曲/ファイルの頭の10秒間だけ繰り返し再生されます。
- SHUFFLEボタンとREPEATボタンを同時に押すと、シャッフルリピート再生がスタートします。一枚のディスクのすべての曲/ファイルが順不同に再生され終わると、次のディスクの曲/ファイルが順不同に再生されます。こうしてすべてのディスクのすべての曲/ファイルが順不同に再生されます。
- INTRO CHECK、REPEAT、 SHUFFLEの3つのボタンを同時に押すと、各曲/ファイルの最初の10秒間だけ順不同に再生されます。1枚のディスクの再生が終わると次のディスクの再生がスタートします。こうしてすべてのディスクのすべての曲/ファイルの最初の10秒間だけが順不同に再生されます。

シャッフル再生

SHUFFLEボタンを押すたびにシャッフルモードがオン、オフします。

シャッフルモードに入ると、SHUFFLEインジケータが点灯して、ディスクの曲/ファイルが順不同に再生されます。

1枚のディスクのすべての曲/ファイルが再生され終わると、次のディスクがシャッフル再生されます。セットされているすべてのディスクが再生され終わるとストップモードになります。

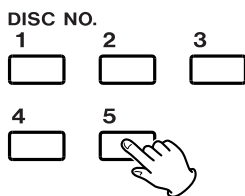
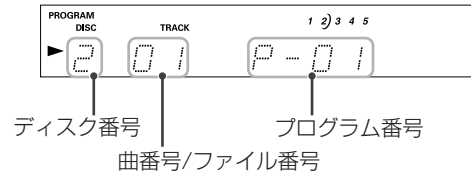
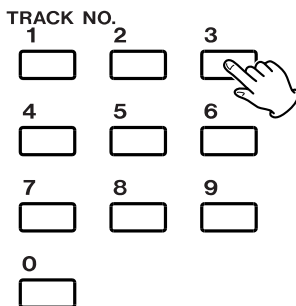
- シャッフル再生中に ►►I ボタンを押すと、ランダムに次の曲/ファイルが選択されて再生されます。I◄◄ ボタンを押すと、再生途中だった曲/ファイルが再び頭から再生されます。この場合を除いて、シャッフル再生モードで同じ曲/ファイルが再生されることはありません。
- シャッフル再生中はリモコンのTRACK NO.ボタンは機能しません。
- 曲/ファイルがプログラムされていると、SHUFFLEボタンは機能しません。
- SHUFFLEボタンとREPEATボタンを同時に押すと、シャッフルリピート再生がスタートします。1枚のディスクのすべての曲/ファイルが順不同に再生され終わると、次のディスクの曲/ファイルが順不同に再生されます。こうしてすべてのディスクのすべての曲/ファイルが順不同に再生されます。
- INTRO CHECK、REPEAT、 SHUFFLEの3つのボタンを同時に押すと、各曲/ファイルに最初の10秒間だけ順不同に再生されます。1枚のディスクの再生が終わると次のディスクの再生がスタートします。こうしてすべてのディスクのすべての曲/ファイルの最初の10秒間だけが順不同に再生されます。

プログラム再生

● 最大32曲を希望の順序でプログラムすることができます。

● シャッフルモードがオンになっていると、PROGRAMボタンは機能しません。

1 ストップモード中にPROGRAMボタンを押します。

「PROGRAM」がディスプレイに点灯します。

2 別のディスクにある曲/ファイルをプログラムしたいときは、そのディスクに該当するDISC NO.ボタン（1～5）を押します。

3 TRACK NO.ボタンを押して曲/ファイルを選択します。

SKIPボタン（⏮/⏭）で曲を選ぶこともできます。

● ディスクのコンテンツが検知されていない段階では、TRACK NO.ボタンを使って3桁の数字を入力することができません。この場合はSKIPボタン(⏮/⏭)を使って曲を選んでください。

● ディスク上の曲/ファイルに該当しない数字を入力することはできません。

● TRACK NO.ボタンを押さない場合は、曲番号/ファイル番号に「A」が表示されます。
その状態でPROGRAMボタンを押すと、ディスクごとプログラムされます。

4 PROGRAMボタンを押すと、選択した曲/ファイルがプログラムされます。

手順の2～4を繰り返して別の曲/ファイルをプログラムします。

● 間違った曲/ファイルをプログラムしてしまったときは、CLEARボタンを押します。最後にプログラムした曲/ファイルがクリアされます。

● 最大32曲/ファイルをプログラムすることができます。

5 プログラムし終えたら、PLAYボタンを押してプログラム再生をスタートさせます。

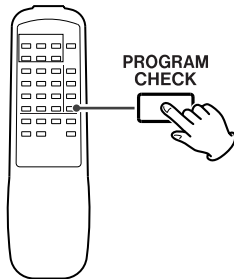
プログラムしたすべての曲の再生が終わったとき、あるいは以下のいずれかのボタンを押すと、プログラム再生はストップします。

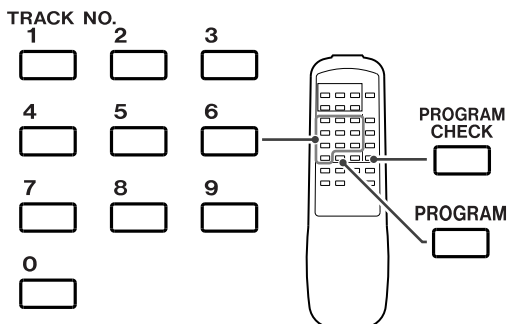
STOP、OPEN/CLOSE

その場合、プログラムされた内容は失われません。PLAYボタンを押すとプログラム再生がリスタートします。

- 電源を切るとプログラムした内容は削除されます。
- プログラムモード中は以下のボタンは機能しません。

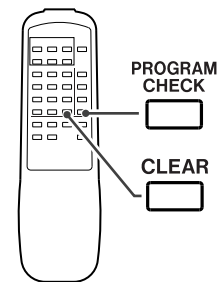
SHUFFLE、DISC NO.、DISC SKIP

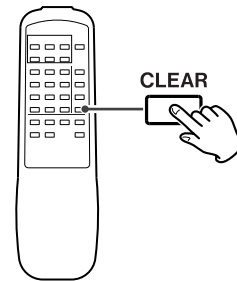
プログラムした曲の順序をチェックするには

ストップモード中にPROGRAM CHECKボタンを繰り返し押します。曲番号とプログラム番号とがディスプレイに順次表示されます。

曲/ファイルをプログラムに追加するには

プログラムの最後に曲あるいはファイルを追加したいときは、プログラム内容の最後に続いて「A」が表示されるまでPROGRAM CHECKボタンを繰り返し押します。

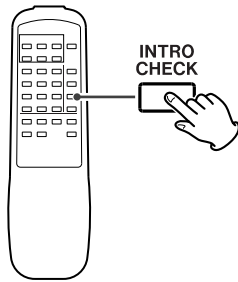
次に、TRACK NO.ボタンを使って曲あるいはファイルを選び、PROGRAMボタンを押します。選んだ曲あるいはファイルがプログラムの最後に追加されます。

- ディスク全体をひとつの単位としてプログラムしてある場合は、プログラム内容の途中で「A」が表示されます。
- プログラムしてある曲あるいはファイルに上書きしたいときは、PORGRAM CHECKボタンを繰り返し押して、削除したいプログラム番号をディスプレイに表示させます。次に、新しい曲あるいはファイルを選びます。

プログラムした曲あるいはファイルを削除するには

ストップモード中にPROGRAM CHECKボタンを繰り返し押して削除したいプログラム番号を表示させます。次に、CLEARボタンを押すと、選んだ曲がプログラムから削除されます。

プログラム内容をすべてクリアするには

ストップモード中にCLEARボタンを2秒以上押し続けます。

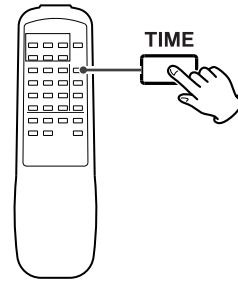
- 電源を切るとプログラム内容は失われます。

イントロチェック

INTRO CHECKボタンを押すたびに、イントロチェックモードがオン、オフします。

イントロチェックモードに入ると、「INTRO」インジケータが点灯して、各曲あるいは各ファイルの頭の10秒間だけが再生されます。

すべての曲あるいはすべてのファイルのイントロ部分の再生が終わると再生はストップします。

- INTRO CHECK、REPEAT、 SHUFFLEの3つのボタンを同時に押すと、各曲/ファイルの最初の10秒間だけが順不同に再生されます。1枚のディスクの再生が終わると次のディスクの再生がスタートします。こうしてすべてのディスクのすべての曲/ファイルの最初の10秒間だけが順不同に再生されます。
- プログラム再生中にINTRO CHECKボタンを押すと、プログラムしてある曲あるいはファイルの頭の10秒間だけがプログラムした順序に従って再生されます。

タイム表示

再生中にTIMEボタンを繰り返し押すと、表示が以下のように切り替わります。

ディスクがCDの場合

ストップモード中

ディスクがMP3の場合

再生中の
ファイル番号

再生中のファイルの
経過時間

↓

再生中の
フォルダ番号

現フォルダ内の再生中の
ファイル番号

↓

フォルダ番号 - フォルダ名（スクロール表示）

↓

ファイル番号 - ファイル名(スクロール表示）

↓

アーティスト名（スクロール表示）

↓

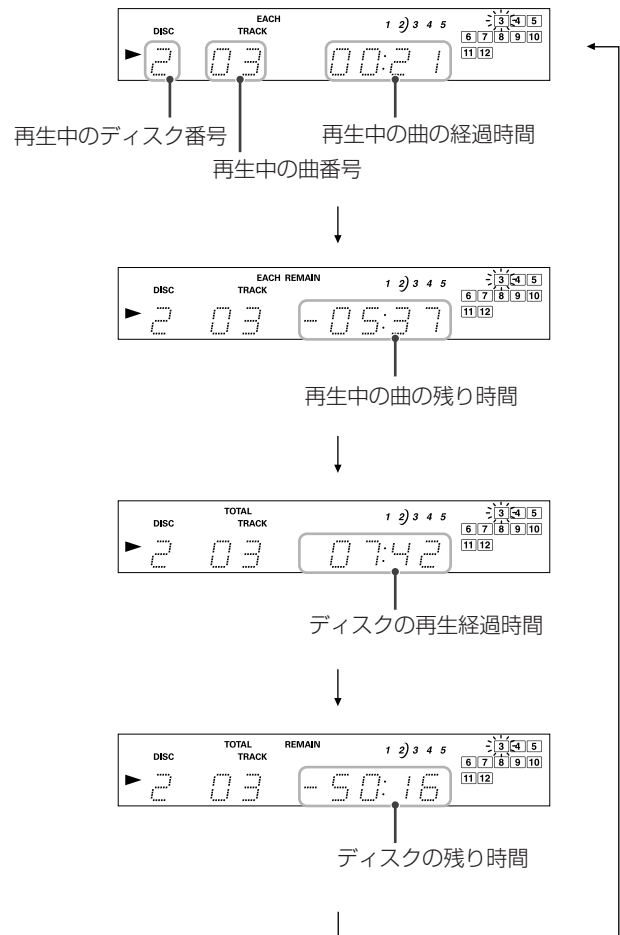
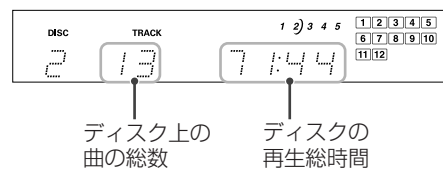
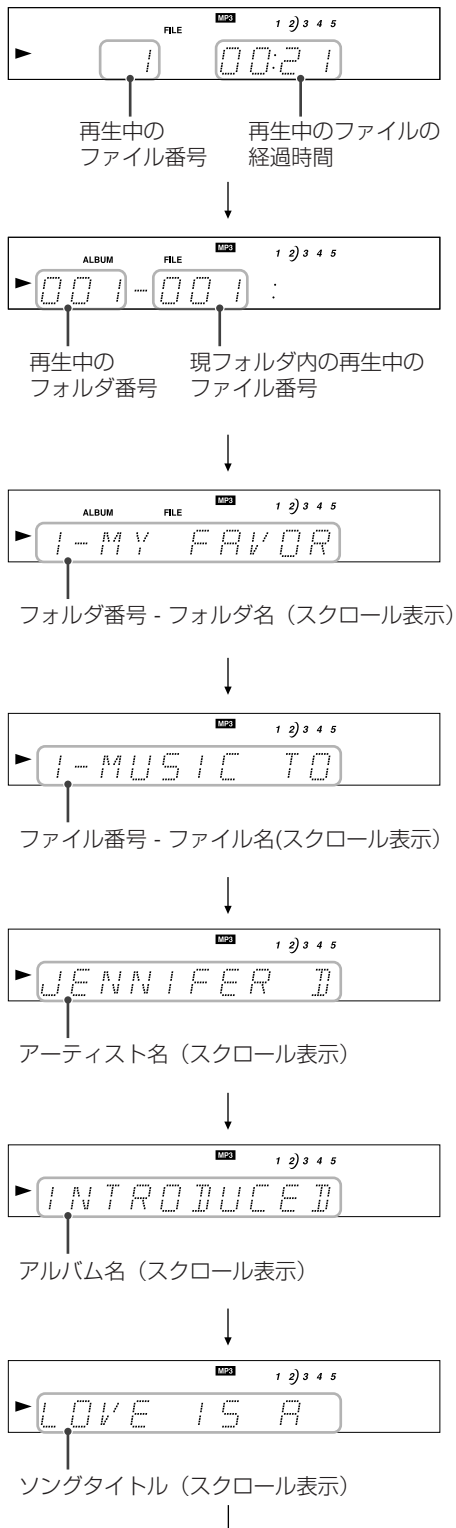
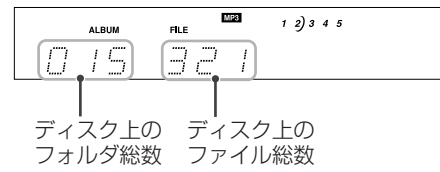
アルバム名（スクロール表示）

↓

ソングタイトル（スクロール表示）

ストップモード中

ディスク上の
フォルダ総数

ディスク上の
ファイル総数

第5章　トラブルシューティング

故障かなと思ったら、修理サービスを依頼される前に、下記のチェックを行ってみてください。

一般

電源が入らない

➡ 電源コードの接続を確認してください。スイッチ付きのタップに接続している場合は、スイッチが入っていることを確認してください。電球や扇風機などをコンセントに接続してみて電気が来ているかどうかチェックしてください。

音が出ない

➡ アンプへの接続を確認してください。

➡ アンプの設定を確認してください。

再生ができない

➡ 再生面を下にしてディスクをセットしてください。

➡ ディスクが汚れている場合は汚れを取り除いてください。

➡ 空ディスクがセットされています。録音済みのディスクをセットしてください。

➡ ディスクの状態などによっては再生できないCD-R/CD-RWディスクがあります。別のディスクで試してみてください。

➡ ファイナライズ処理されていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。ＣＤレコーダでファイナライズ処理してから再生しなおしてみてください。

音が飛ぶ

➡ 振動や衝撃を受けない場所へ本機を設置してください。

➡ ディスクが汚れていれば汚れを取り除いてください。

➡ 傷が付いていたり変形したディスクは使用しないでください。

リモコン

リモコンが効かない

➡ 電池切れかもしれません。電池を交換してみてください。

➡ 有効な距離（5メートル以内）から本機のフロントパネルに向けてリモコンを操作してください。

➡ リモコンと本機との間に遮蔽物があれば取り除いてください。

➡ 本機の近くに蛍光灯があれば消してください。

MP3

PLAYボタン（►）を押しても音が聞こえない。

➡ 本機に対応していないフォーマットで作成されたファイルは再生できません。

ディスプレイに妙な文字が表示される

➡ 本機は記号や全角文字を正しく表示することができません。MP3ファイルの名前には英数字を使ってください。

以上のチェックで正常な動作に復帰できない場合は、コンセントから電源コードを一度抜いてから再度差し込んでみてください。

第6章　仕様

CDプレーヤー

ピックアップ	3ビームレーザー
D/Aコンバーター	デュアル1ビットリニア
デジタルフィルタ	4倍速オーバーサンプリング
周波数レスポンス	20 Hz ～ 20 kHz、±2 dB
全高調波ひずみ	0.02 % 以下(1 kHz)
S/N比	93 dB 以上
チャネルセパレーション	83 dB 以上(1 kHz)
出力	アナログ：2.0Vrms(RCA)
	アナログ：4.0Vrms(XLR)
	デジタル：COAXIAL/TOS OPTICAL

一般

所要電力	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	9 W
寸法(幅×高さ×奥行)	482 x 131 x 376mm（レッグ含まず）
重量（ネット）	7.2 kg
動作時温度	+5℃～+35℃
動作時相対湿度	5%～85%（結露なきこと）
保管時温度	-20℃～+55℃

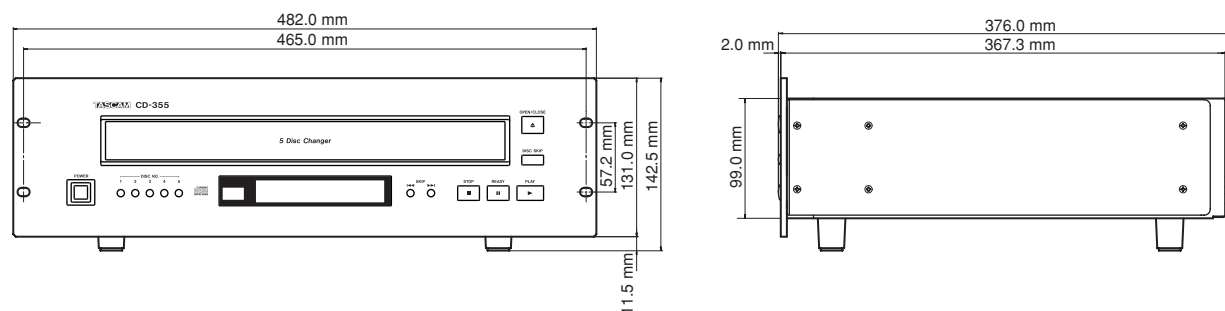
付属品

リモコン(RC-355C)	x1
電池（単三）	x2
ラックマウントネジキット	x1
取扱説明書	x1
保証書	x1

＊ デザインと仕様は予告なく変更することがあります。

＊ 重量と寸法は概数です。

＊ イラストは実物と異なる場合があります。

外形寸法図

この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00/13:00～17:00です。

タスカム営業技術　〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～17:00です。

ティアック修理センター　〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
http://www.tascam.jp/

Printed in China